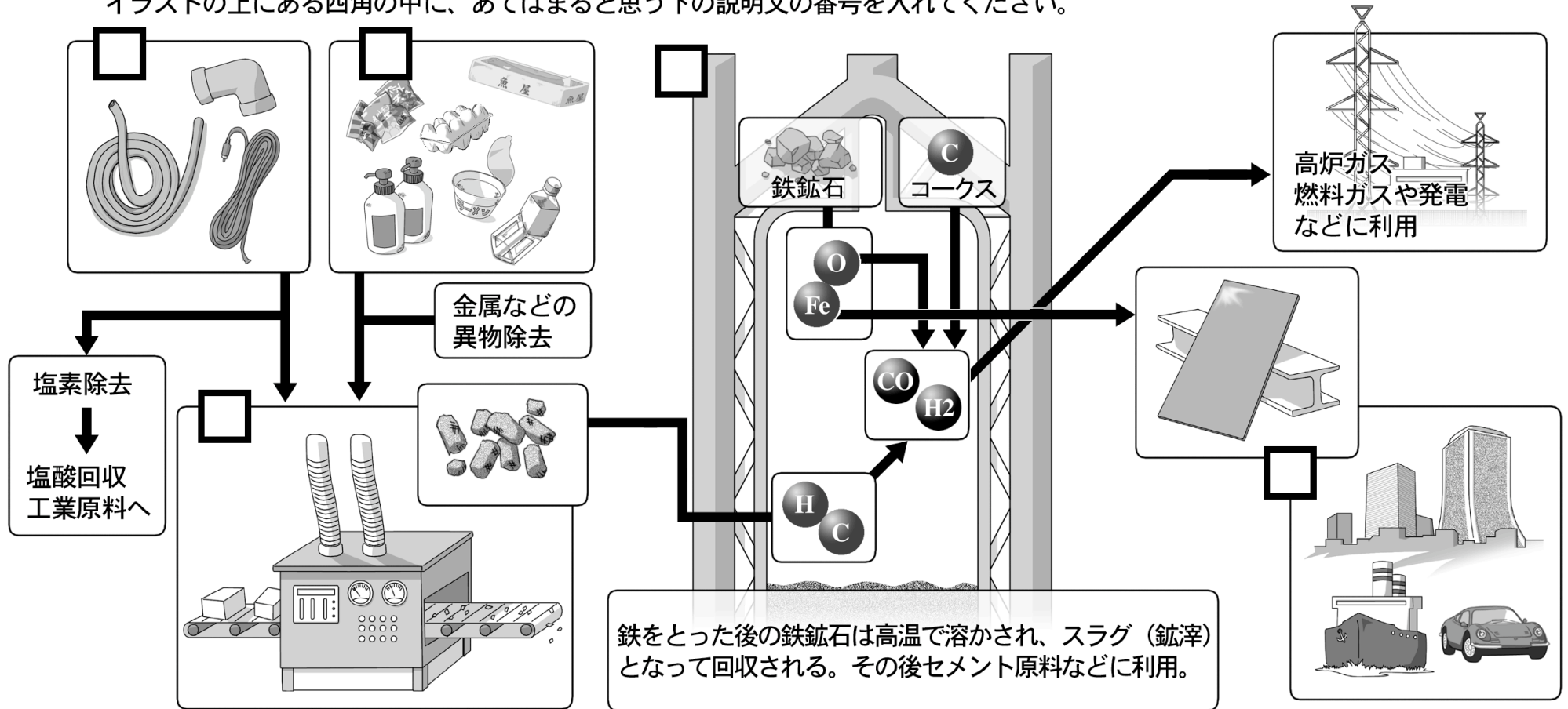


ケミカルリサイクル 製鉄原料 1 高炉原料化

ケミカルリサイクルの1つに、使用済みプラスチックを活用して鉄を作る技術があります。この鉄を作る技術には、高炉原料化技術とコークス炉化学原料化技術の2種類があります。下の図は高炉原料化の流れです。イラストの上にある四角の中に、あてはまると思う下の説明文の番号を入れてください。



鉄をとった後の鉄鉱石は高温で溶かされ、スラグ（鉱滓）となって回収される。その後セメント原料などに利用。

- | | | | | |
|---|------------------------------------|--|---|--|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 高炉に吹き込まれたプラスチックは、鉄鉱石の酸素と結びつき、還元ガス（高炉ガス）となります。 | 塩化ビニル（PVC）は、塩素分を分離してから、原料として活用します。 | 異物を取り除いたプラスチックを、細かく破碎したり、粒状に成形するなどの原料化を行います。 | ボトルやパックなどの硬質系からラップやお菓子の袋など、ほとんどのプラスチックが原料となります。 | 鉄鉱石の酸素がコークスとプラスチックによって分離されたあと、残ったものが鉄（Fe）です。高炉から流れ出した鉄は、鉄板などに加工され出荷されます。 |

年	組	名前
---	---	----